

令和2年度第2回札幌市児童会館運営協議会 会議記録

開催日：令和2年3月17日（水）送付

委員：加藤委員、小野寺委員、林委員、松山委員、佐藤委員、山本委員、井崎委員、会田委員
その他：新型コロナウイルス感染症による社会情勢を踏まえて、集合型での会議を行わず、委員へ資料を送付してご意見等をいただく形式で実施した。

1 議事・次第

- (1) ごあいさつ
- (2) 令和2年度札幌市児童会館運営協議会 委員名簿
- (3) 令和2年度事業報告について
- (4) 令和2年度利用者アンケート結果報告について
- (5) 令和3年度札幌市児童会館（こども育成課）事業計画
- (6) 札幌市からの報告事項

2 ご意見等

委員からのご意見等	事務局からの回答等
<p>【加藤委員】</p> <p>報告資料をお送りいただき、ありがとうございました。今年度は昨年度から引き続き、新型コロナウイルスの流行のため、きっと思い通りの活動ができず、職員の方も悔しい思いをされたことと思います。</p> <p>資料の中でも記されていると思いますが、アンケートの随所にコロナ禍による影響が見られる点が印象的でした。その中でも特に気になったのは、設問7「児童会館～は楽しいですか?」という質問で、小学校高学年で満足度が下がる点です。この種類の質問に関しては、多くの調査で小学校高学年から中学生で低下する傾向がみられますが、やはり何が理由で満足度が少し低下するのは、現場の聞き取りなどを通して、把握しておくことが重要ではないかと思いました。</p>	<p>【事務局】</p> <p>職員への労いのお言葉をいただき、ありがとうございます。</p> <p>設問7～9、11の回答で高学年の満足度が下がることにつきまして、現場の見解をお答えいたします。</p> <p>児童会館では学年が上がるにつれて、その発達段階に合わせて自分で考えて行動するよう促すことが増えます。そのため、自分が低学年の頃と比べて職員のかかわり方が変わってきたと感じることが満足度の低下に影響を与えているものと考えております。</p> <p>今後は、成長・発達に寄り添いながら、より児童会館が楽しい場と感じてもらえるよう、一人ひとりに合わせた対応を行ってまいります。</p>

<p>同様に職員に対しても、設問8「笑顔で話してくれる」設問9「一緒に遊んだり・活動」では、小学校高学年の男子が若干低く、設問11「丁寧に対応してくれる」では男女ともに低い傾向が見られます。この点についても、発達的にみて妥当な結果であると思う一方で、その理由がどのあたりにあるのか、より現場の声を聞きたいと思いました。</p>	
<p>【小野寺委員】</p> <p>コロナ禍の中、貴会並びに職員の皆様が、子どもたちのために創意工夫をしながら、様々な形でご尽力されていることに心から敬意を表します。</p> <p>アンケート結果について、「設問2」（児童会館・ミニ児童会館で地域の人と一緒に活動することはありますか？）と「設問4」（児童会館・ミニ児童会館の行事で、やりたい遊びや行事について、職員と一緒に考えたことがありますか？）がやや思わしくない結果となっておりますが、これをどのようにとらえるかによって対応策も変わってくると思います。</p> <p>「設問2」は考察結果のとおりと思われませんが、「設問4」については、ピンチはチャンス（コロナ禍の中でどんな遊びができるか？）といったようなアイデアを子どもたちに求めていくのも一考かと思えます。いずれにしても、コロナが速く収束して、児童会館にいつものような活気が戻ってくることを心から願っております。</p> <p>今年度も、大変お疲れさまでした。</p>	<p>【事務局】</p> <p>職員への労いのお言葉をいただき、ありがとうございます。</p> <p>設問2および4は、コロナ禍において子どもたちの安全面・健康面を優先した結果、本人たちの自己実現につながる機会を設けることができなかつたのが影響していると考えます。</p> <p>次年度はコロナ禍においても、子ども運営委員会の取り組みを中心に、子どもたちと一緒に「今だからできる遊び」を考えてまいります。</p>